

東海交通

# 全社員対象にAED講習

## 「緊急時に役立て」と初の試み

東海交通(青木良浩社長)は4日、豊橋市高洲町の同社高洲営業所で、タクシー運転手をはじめ全社員を対象としたAED(自動体外式除細動器)講習会を開いた。豊橋ハートセンターの協力で、緊急時における急病者の対応を目的に、今後全社員約320人が受講する。

バスや電車などの公共交通機関に比べ、高齢者や重病患者の利用が多いタクシーで、緊急時に適



切な救命措置が取れるようにと、今回初めて全社員によるAED受講を試みた。高洲・岩屋の両営業所で12日間に分けて、講習が開かれる。

初日のこの日は、タクシーの運転手ら約40人が受講。2人1組で人工呼吸と心臓マッサージによる正しい心肺蘇生(そせい)法を学んだあと、実際にAEDに触れながら操作方法を身に付けた。

参加した運転手の1人は「安心してタクシーに乗ってもらうためにも、(AED受講は)大切なことだと思う。いざとなったときに今日学んだことを生かしたい」と話していた。

AEDの操作方法を学ぶタクシーの運転手